



CINEMA 4D

RELEASE 11.5



MAXON

3D FOR THE REAL WORLD

インストールガイド

目次

CINEMA 4D R11.5 インストールガイド

1. インストールの前に.....	3
2. CINEMA 4D R11 のインストール.....	4
現在のユーザー.....	5
すべてのユーザー.....	5
CINEMA 4D (BodyPaint 3D を含む).....	6
BodyPaint 3D.....	6
NET Render サーバー (スタンドアロン).....	6
NET Render クライアント (スタンドアロン).....	6
個別のモジュール、言語、ヘルプ.....	6
スタートメニューにエントリを作成しない.....	7
自分のアカウントのみ.....	7
全てのユーザー.....	7
CINEMA 4D (BodyPaint 3D を含む).....	10
BodyPaint 3D.....	10
NET Render サーバー (スタンドアロン).....	10
NET Render クライアント (スタンドアロン).....	10
個別のモジュール、言語、ヘルプ.....	10
3. モジュールを個別にインストール.....	12
4. NET Render のインストール.....	12
5. プログラムのアンインストール.....	13
Windows.....	13
6. オンラインアップデート.....	14
オンラインアップデートはどのように働くか?.....	15
7. 言語、ヘルプファイル、アップデートを手動インストール.....	16
8. サポートと連絡先.....	18
日本.....	18
Europe / Germany.....	18
Europe / Germany.....	18
France.....	18
United Kingdom & Ireland.....	18
United States, Canada, The Americas.....	19

CINEMA 4D R11 .5インストールガイド

1. インストールの前に

このソフトウェアをインストールする前に以下のことをお読みください：

インストールの前に、必ず「Readme JP(なければ Readme US)」ファイルをお読みください。このファイルには、直前に変更されたことなどが記載されています。変更点は、インストールに関することが含まれる場合もあります。このファイルは、Installation DVD にあり、インストールプログラム（以下をご覧ください）でも表示されます。

インストールの前に、ソフトウェアパッケージの内容もご確認ください。購入したパッケージにより、以下のコンポーネントが収録されています：

- CINEMA 4D installation DVD
- クイックスタートマニュアル
- 仮ライセンス番号が記載された登録用紙。この番号はソフトウェアの起動に必要です。
- ご注文されたパッケージ(Edition や Bundle など) により、追加アイテム(チュートリアルなど)があります。

もし、上記のアイテムがない場合は、CINEMA 4D の代理店もしくは、MAXON Computer へお問い合わせください。

弊社のサイトである www.maxon.net にアクセスしていただければ、お持ちのソフトウェアの最新アップデートの情報が入手できます。もし、CINEMA 4D R11.5 の最新版やモジュール、言語インストーラーがある場合、それらのファイルをダウンロードすることができます。（もし、CINEMA 4D がインターネットにアクセスできる環境にある場合、前述のダウンローを行う必要はありません。新しいオンラインアップデートが自動的にダウンロードします）

Installation DVD には、いくつかのプログラムが含まれています。それぞれは追って説明いたします：

2. CINEMA 4D のインストール
3. 個々のモジュールのインストール
4. NET Render のインストール
5. プログラムのアンインストール
6. オンラインアップデート
7. 言語、ヘルプファイル、アップデートを手動インストール
8. サポートと連絡先

2. CINEMA 4D R11のインストール

以下の手順で CINEMA 4D をインストールします。

- Installation DVD を DVD ドライブに入れてください。DVD のマークがエクスプローラ (Windows) / Finder (Macintosh) に現れます。もし現れない場合、手動で DVD をエクスプローラ / Finder から、開いてください。
- "Setup(.exe)" をダブルクリックします。 .

CINEMA 4D のコアアプリケーションと個別のモジュール、NET Render がインストールされます。なお、インストールされる内容はお客様がご購入されたパッケージにより異なります。この情報は、ライセンス番号用紙に記載されています。

Windows

最初に、言語の選択画面ウインドウが表示されます。希望される言語 (日本語なら Japanese) を選び、"OK" を押してください。

Windowsシステム上でのCINEMA 4D R11.5の最低動作環境は以下の通りです。:

- Windows XP (32/64-bit), Vista (32/64-bit), Windows 7 (32/64-bit)
- Windows 7 オペレーションシステム用 Internet Explorer 8
- 1024 MB 以上のメモリ
- SSE2 をサポートした AMD もしくは Intel プロセッサ
- OpenGL 対応のグラフィックカード
- 24bit カラーの色深度を持つ解像度が 1024x768 以上のモニター
- 1GB 以上のハードディスク空き容量 (ただし、ヘルプファイルは含みません)

注意: CINEMA 4D の最低動作環境が満たされていない場合、エラーメッセージが表示され、インストールが中断されます。

次のインストールの行程では、「Readme JP (なければ Readme US)」が表示されます。このファイルには、インストールに関する情報が含まれています。この内容には、インストールおよびその他の変更事項が記載されている可能性がありますので、必ずお読み下さい。

Readme をお読みいただいた後、「続ける」をクリックしてください。

登録のページが表示されたら、お客様の個人情報とライセンス番号用紙に記載のライセンス番号を入力してください。



1. ここに、会社名およびお名前など個人情報を入力してください。
2. ここに、ライセンス番号を入力してください。シリアルは、手動で入力するか、シリアル情報をメールで入手している場合は、シリアルをコピーペーストしていただいても結構です。マニュアルで入力する場合、英数字およびハイフンまですべて入力してください。アプリケーションからモジュールまで一度に入力していただけます。
3. すでに、CINEMA 4D とモジュールをインストールしている場合、それぞれのシリアルはこの部分に表示されます。インストールされていないものは、ライセンス番号は空欄になっています。
4. 選択したライセンス番号が、現在のアカウントのみなるか、すべてのアカウントに保存するかをここで選択します。

現在のユーザー

ライセンス番号は、ライセンス番号は、あなたのアカウント（現在ログインしているユーザーアカウント）にのみ保存されます。他のユーザーはアプリケーションを使うことができません。

すべてのユーザー

ライセンス番号は、そのコンピュータ全体に保存され、あなた（現在のログインアカウント）および他のアカウントでも使用できます。

注意: もし、モジュールを後から追加インストールする場合、最初のインストールと同じオプション設定でインストールする必要があります。たとえば、CINEMA 4D を「すべてのユーザー」でインストールして、モジュールを「現在のユーザー」でインストールすると、モジュールは現在のユーザーでしか、ご使用いただけません。

5. もし、MAXON License Server をお使いの場合、このオプションをチェックを入れてください。

別のデータの入力欄が開きます。ここには、サーバーの IP アドレスとポート番号を入力する必要があります。



また、「ファイルを選択 ...」ボタンから、「license.ini」ファイルを選択して実行することもできます。「license.ini」ファイルは CINEMA 4D R11 のインストールダイアログから開くと、IP アドレスとポート番号が自動的に入力されます。

入力内容に問題がなければ、「OK」をクリックしてダイアログウィンドウを閉じます。

もし、すべての情報が正しく入力できたら、「続ける」ボタンをクリックします。ダイアログウィンドウに従っていくと、あらかじめ入力したライセンス番号によりインストールタイプを選ぶことができます。

CINEMA 4D (BodyPaint 3Dを含む)

あらかじめ入力したライセンス番号に対応したアプリケーションおよびすべてのモジュールがインストールされます。

BodyPaint 3D

あらかじめ入力したライセンス番号に対応した BodyPaint 3D およびすべてのモジュールがインストールされます。

NET Render サーバー(スタンドアロン)

NET Render が別のディレクトリインストールされます。

NET Render クライアント(スタンドアロン)

NET Render クライアントが別のディレクトリインストールされます。

注意: NET Render クライアントは、常に、インストール項目として表示されます。

個別のモジュール、言語、ヘルプ

個別のモジュール、言語ファイル、ヘルプファイルを追加でインストールします。

希望のインストールタイプを選んで、「続ける」をクリックします。

ダイアログウィンドウに従っていくと、インストールされる内容が確認できます。インストール項目を選択解除して変更できます。通常は特に変更する必要はありません。

初期設定では、CINEMA 4D は、英語版でインストールされます。提供されている別の言語やヘルプファイルなどは、「オプション」タブにあります。インストールしたい項目にチェックを入れてください。

インストールしたいすべてのファイルを選択したら、「インストール」ボタンをクリックしてインストールを行います。

続いてソフトウェア使用許諾契約が、ダイアログウィンドウに表示されます。CINEMA 4D のインストールを続けるには、契約に同意いただく必要があります。

注意：使用許諾は必ずお読みください。

使用許諾契約の内容にご同意いただけない場合、「キャンセル」をクリックして、インストール作業を終了しなければなりません。そして、ソフトウェアパッケージを完全な状態で購入された販売店に返品する必要があります。

ソフトウェア許諾契約の内容を入念にお読みいただき、ご同意いただけた場合、「ライセンスを読み、同意します。」にチェックを入れてください。

それにより、インストール作業を続けることができます。

ダイアログウィンドウに従って、ソフトウェアのインストール先を指定します。また、ソフトウェアを Windows のスタートメニューに表示するか、デスクトップにショートカットを作るかも選べます。

デフォルトのインストール先は、Windows の「Programs」ディレクトリになります。このパスは必要があれば変更できます。

注意！

インストール先を変更した場合、インストールパスの最後に「¥CINEMA 4D R11.5」を手動で追加する必要があります。追加しないと、プログラム直接選択ディレクトリにインストールされます。

このバージョンの CINEMA 4D は、R11 など別に存在する CINEMA 4D のディレクトリにはインストールしないでください。それぞれのインストールが不正な状態になります。

スタートメニューにショートカットリンクを作成するかどうかを設定できます。

スタートメニューにエントリを作成しない

スタートメニューにショートカットリンクを作成しません。

自分のアカウントのみ

現在のアカウントのスタートメニューにのみショートカットリンクを作成します。

全てのユーザー

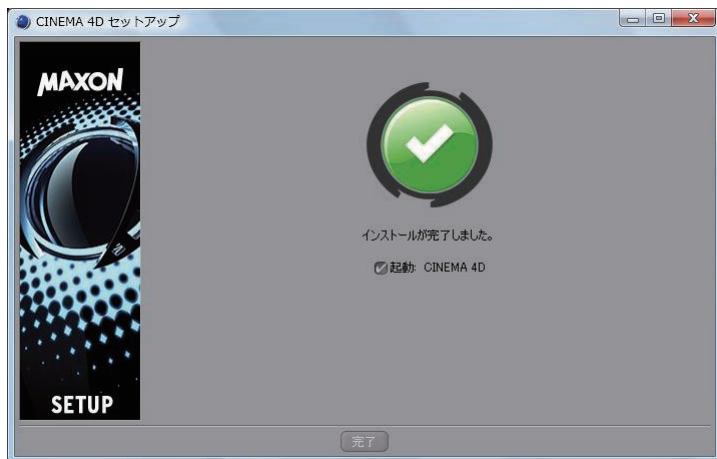
コンピュータのすべてのアカウントのスタートメニューにショートカットリンクを作成します。

「デスクトップにショートカットを作る」コマンドは、インストールするエレメントのショートカットをデスクトップに作成します。

すべてのオプションの設定が完了したら、「インストール」をクリックすると、インストール作業が開始されます。

最初に、必要なファイルが解凍され、ハードディスクにコピーされます。そして、インストールプログラムが、あなたのオプション設定に従ってソフトウェアをインストールします。

インストールが完了すると、次のダイアログウインドウが開きます：



「完了」ボタンをクリックすると、インストールが完了し、CINEMA 4D R11.5 がスタートします。もし、あとからアプリケーションを起動したい場合、「起動：CINEMA 4D」のチェックを外してください。

Mac OS

最初に、言語の選択画面ウインドウが表示されます。希望される言語（日本語なら Japanese）を選び、「Setup」を押してください。

Mac OS 上での CINEMA 4D R11.5 の最低動作環境は以下の通りです：

- Mac OS 10.4.x もしくは Mac OS 10.5.3
- 1024 MB 以上のメモリ
- IBM PowerPC G5 もしくは、Intel Core Solo プロセッサ
- OpenGL 対応のグラフィックカード
- 24bit カラーの色深度を持つ解像度が 1024x768 以上のモニター
- 1GB 以上のハードディスク空き容量（ただし、ヘルプファイルは含みません）

次のインストールの行程では、「Readme JP (なければ Readme US)」が表示されます。このファイルには、インストールに関する情報が含まれています。この内容には、インストールおよびその他の変更事項が記載されている可能性がありますので、必ずお読み下さい。

Readme をお読みいただいた後、「続ける」をクリックしてください。

登録のページが表示されたら、お客様の個人情報とライセンス番号用紙に記載のライセンス番号を入力してください。



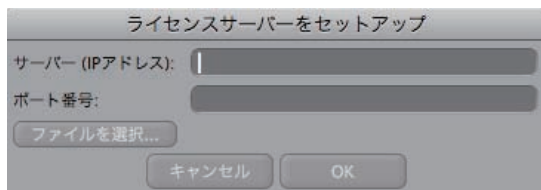
1. ここに、会社名およびお名前など個人情報を入力してください。

2. ここに、ライセンス番号を入力してください。シリアルは、手動で入力するか、シリアル情報をメールで入手している場合は、シリアルをコピーペーストしていただいても結構です。マニュアルで入力する場合、英数字およびハイフンまですべて入力してください。アプリケーションからモジュールまで一度に入力していただけます。

3. すでに、CINEMA 4D とモジュールをインストールしている場合、それぞれのシリアルはこの部分に表示されます。インストールされていないものは、ライセンス番号は空欄になっています。

4. 選択したライセンス番号が、現在のアカウントのみなるか、すべてのアカウントに保存するかをここで選択します。

別のデータの入力欄が開きます。ここには、サーバーの IP アドレスとポート番号を入力する必要があります。



また、「ファイルを選択...」ボタンから、「license.ini」ファイルを選択して実行することもできます。「license.ini」ファイルは CINEMA 4D R11 のインストールダイアログから開くと、IP アドレスとポート番号が自動的に入力されます。

入力内容に問題がなければ、「OK」をクリックしてダイアログウィンドウを閉じます。

もし、すべての情報が正しく入力できたら、「続ける」ボタンをクリックします。ダイアログウィンドウに従っていくと、あらかじめ入力したライセンス番号によりインストールタイプを選ぶことができます。

CINEMA 4D (BodyPaint 3Dを含む)

あらかじめ入力したライセンス番号に対応したアプリケーションおよびすべてのモジュールがインストールされます。

BodyPaint 3D

あらかじめ入力したライセンス番号に対応した BodyPaint 3D およびすべてのモジュールがインストールされます。

NET Render サーバー(スタンドアロン)

NET Render が別のディレクトリインストールされます。

NET Render クライアント (スタンドアロン)

NET Render クライアントが別のディレクトリインストールされます。

注意: NET Render クライアントは、常に、インストール項目として表示されます。

個別のモジュール、言語、ヘルプ

個別のモジュール、言語ファイル、ヘルプファイルを追加でインストールします。

希望のインストールタイプを選んで、「続ける」をクリックします。

ダイアログウィンドウに従っていくと、インストールされる内容が確認できます。インストール項目を選択解除して変更できます。通常は特に変更する必要はありません。

初期設定では、CINEMA 4D は、英語版でインストールされます。提供されている別の言語やヘルプファイルなどは、「オプション」タブにあります。インストールされたいものにチェックを入れてください。

インストールしたいすべてのファイルを選択したら、「インストール」 ボタンをクリックしてインストールを行います。

続いてソフトウェア使用許諾契約が、ダイアログウインドウに表示されます。CINEMA 4D のインストールを続けるには、契約に同意いただく必要があります。

注意：使用許諾は必ずお読みください。

使用許諾契約の内容にご同意いただけない場合、「キャンセル」 をクリックして、インストール作業を終了しなければなりません。そして、ソフトウェアパッケージを完全な状態で購入された販売店に返品する必要があります。

ソフトウェア許諾契約の内容を入念にお読みいただき、ご同意いただけた場合、「ライセンスを読み、同意します。」にチェックを入れてください。

それにより、インストール作業を続けることができます。

ダイアログウインドウに従って、ソフトウェアのインストール先を指定します。また、ソフトウェアを Windows のスタートメニューに表示するか、デスクトップにショートカットを作るかも選べます。

デフォルトのインストール先は、Windows の「Programs」ディレクトリになります。このパスは必要があれば変更できます。

注意！

インストール先を変更した場合、インストールパスの最後に「/CINEMA 4D R11.5」を手動で追加する必要があります。追加しないと、プログラム直接選択ディレクトリにインストールされます。

このバージョンの CINEMA 4D は、R11 など別に存在する CINEMA 4D のディレクトリにはインストールしないでください。それぞれのインストールが不正な状態になります。

すべてのオプションの設定が完了したら、「インストール」 をクリックすると、インストール作業が開始されます。

最初に、必要なファイルが解凍され、ハードディスクにコピーされます。そして、インストールプログラムが、あなたのオプション設定に従ってソフトウェアをインストールします。

インストールが完了すると、次のダイアログウインドウが開きます：



「完了」ボタンをクリックすると、インストールが完了し、CINEMA 4D R11.5 がスタートします。もし、あとからアプリケーションを起動したい場合、「起動: CINEMA 4D」のチェックを外してください。

3. モジュールを個別にインストール

手順は、前述のポイント「2.」と同じです。

インストールタイプを選ぶウィンドウで、「個別のモジュール、言語、ヘルプ」を選んでください。

ダイアログウィンドウに従っていくと、インストールしたい項目を選ぶことができます。

メモ: OS にライセンス番号認証済みのため、既にインストールされているモジュールも表示されます。

注意: インストール済みのモジュールは選択しないでください。再インストールすると、再度アップデートの必要があります。(オンラインアップデート; マニュアルインストール)

もし、インストール先が指定していない場合、CINEMA 4D R11.5 もしくは、NET Render R11.5 (インストール済みの場合) のディレクトリを、ターゲットディレクトリに指定してください。

4. NET Renderのインストール

手順は、前述のポイント「2.」と同じです。

インストールタイプを選ぶウィンドウで、「NET Render サーバー」か「NET Render クライアント」を選んでください。

このオプションを設定すると、デフォルトのインストールパスに、新しいディレクトリを作成します。ディレクトリの名前は、それぞれ「NET Render R11.5 Server」と「NET Render R11.5 Client」になります。

警告！

インストールパスやターゲットディレクトリを変更する場合、手動で、それぞれ「NET Render R11.5 Server」と「NET Render R11.5 Client」にしなければなりません。そうしないと、プログラムは選択パスに調節インストールされます。

NET Render は、CINEMA 4D のディレクトリにインストールしないでください。

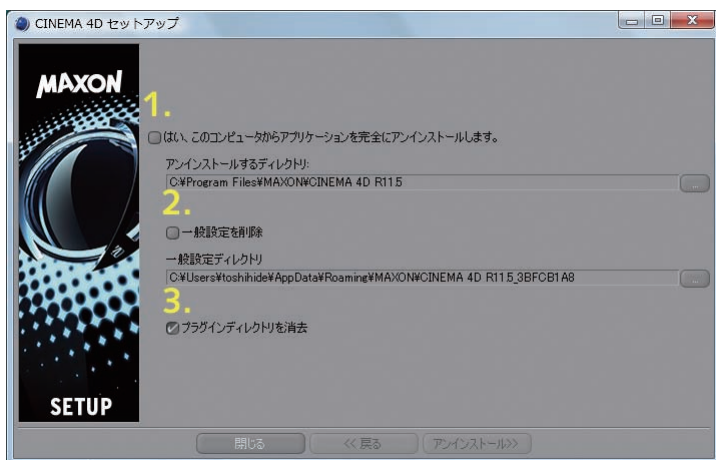
Tip:

NET Render Client は、それぞれのコンピュータに対して、新規インストールする必要はありません。「NET Render R11.5 Client」をそれぞれのコンピュータにクライアントをだけをそのままコピーするだけで大丈夫です。NET Renderを使うには、すべてのコンピュータが、TCP/IP ネットワークを使って接続されている必要があるので、すべてのコンピュータをセットアップするには、この方法がもっとも簡単なやり方になります。

5. プログラムのアンインストール

Windows

コントロールパネルから、「プログラムの追加と削除」を選び、CINEMA 4D R11.5 もしくは、NET Render のエントリをダブルクリックしてください。するとダイアログウィンドウが開きます。



1. CINEMA 4D をコンピュータから完全に削除したい場合、このオプションを選びます。
2. ユーザーディレクトリのデータも削除したい場合、このオプションを選びます。このディレクトリには、あなたのプログラムの初期設定および他の情報が入っています。

注意: このディレクトリを削除すると、あなたのコンテンツブラウザおよび、他の保存ファイルも削除されます。このオプションを選択する際は、本当にそれらのファイルが必要ない場合だけにしてください。

3. このオプションは、プラグインディレクトリも削除するかどうか定義します。もし、サードパーティ製のプラグインを将来再度使う予定がある場合、このオプションは、オフにしてください。なぜなら、デフォルトで削除する設定になっています。

Mac OS

Mac OS でアンインストールするには、「CINEMA 4D R11.5」もしくは「NET Render R11.5」をそのままゴミ箱に捨ててください。

あなたのユーザーデータは、ハードディスクの次の場所にあります。「Macintosh HD / Users / [ユーザー名] / Library / Preferences / MAXON」。もし、この情報も削除したい場合は、このフォルダをそのままゴミ箱に捨ててください。

注意: このディレクトリを削除すると、あなたのコンテンツブラウザおよび、他の保存ファイルも削除されます。

6. オンラインアップデータ

CINEMA 4D が起動すると、自動的に必要なアップデートがないかを知らせてくれます。アップデータのリストには、オンラインアップデータが言語ファイルやヘルプファイルなどが表示されます。

オンラインアップデータが動作するには、使用しているコンピュータがインターネットに接続され、ファイアウォールがオンラインアップデータがインターネットにアクセスできるように設定されている必要があります。

もし、コンピュータが、インターネットに接続できない場合、次の 7. をご覧ください。

注意: MAXON Computer は、お客様の個人情報の保護に万全を期しています。!

アップデートサーバーに接続される際、あなたおよびあなたのコンピュータ / ネットワークから個人情報、送信されません。

もし、オンラインアップデータを無効にされたい場合、一般設定のメニューから設定できます。ただし、アップデートは手動でダウンロードする必要があります。(7. をご覧ください)

オンラインアップデータはどのように働くか?

もし、オンラインアップデータダイアログが現れたら、提供されるすべてのアップデートは「アップデート」欄に表示されます。

その中からインストールされたいアイテムの横にあるチェックボックスにチェックを入れてください。
(重要: アップデートはデフォルトでオンになっています)

アイテム名をクリックすると、「内容」欄にアイテムに関する情報が表示されます。

インストールしたいアイテムを選んだ後、ウインドウの下にある「今すぐインストール」ボタンをクリックしてください。

ソフトウェア使用許諾契約が、ダイアログウインドウに表示されますので、CINEMA 4D のインストールを続けるに、ご契約条件に合意していただく必要があります。使用許諾に合意されたくない場合、「閉じる」をクリックしてアップデートを終了してください。

ソフトウェア許諾契約の内容を入念にお読みいただき、ご同意いただけた場合、「ライセンスを読み、同意します。」にチェックを入れてください。

「インストール時に自動的に再起動する」オプションを有効にすると、必要な時にアプリケーションが自動的に再起動します。でなければ、その都度行う必要があります。

「インストール完了後、ダウンロードしたアップデートファイルは削除する」オプションを有効にすると、インストール完了後不要なファイルを自動的に削除します。アップデートの度に、ハードディスク容量が増えることを防ぎます。

「インストール前にバックアップコピーを作成する」オプションを有効にすると、アップデートを適用する前の CINEMA 4D をバックアップコピーします。バックアップの保存先は、「パス」で設定します。

注意: バックアップコピーは、一般的な .zip ファイルで、「c4d_backup_[日付]_[時間].zip」の形式で命名されます。ファイルが 500MB を超える場合、いくつかの小さな .zip ファイルに分割されます。その場合、関連する .zip ファイルを解凍するには、すべてのファイルが同じフォルダ内に存在しなければなりません。

Windows ユーザーの場合: エクスプローラウインドウで、個々のファイルをダブルクリックし、各アーカイブを対象フォルダにドラックします。もし、特別な解凍ソフトをお持ち場合、すべての .zip ファイルを選択して一つのバックアップファイルにできます。選択したファイルを右クリックして、「Unzip to」(WinZip) か「Unzip here」(7-zip) コマンドをコンテキストメニュー選びます。

Mac OS X ユーザーの場合: ZIP 圧縮ファイルと一緒にある「.bat」をダブルクリックすると、システムプログラムのターミナルが開き、バックアップファイルがリストアされます。もし、発生しない場合、.bat ファイルを右クリックか、cmd + クリックして、「このアプリケーションで開く / その他 ...」を選び、システムプログラムの一覧から、ターミナルを選択します。

この手順は、個別に解凍されたフォルダをアーカイブされたバージョンの CINEMA 4D に置換えます。

「続ける」をクリックして必要なファイルをダウンロードします。ダイアログウインドウにプログレスバーが表示され、ダウンロードの進行状況を確認できます。ウインドウをクローズしても、ダウンロードはバックグラウンドで継続します。ダウンロードは作業の邪魔をしません。

すべてのファイルが、ダウンロードされると自動的に解凍され、CINEMA 4D は終了します。これにより、アップデートが初期化されます。自動再起動の機能をオフにされている場合、手動で再起動する必要があります。(前述をご覧ください)

新しいファイルがインストールされ、CINEMA 4D は新しいバージョンもしくは新しい言語で自動的に再起動します。(機能が有効な場合)

メモ: NET Render については、オンラインアップデートでのダウンロードができません。NET Render のアップデートは、別の方法で提供されます。アップデート情報は、maxon.net でご案内いたします。

NET Render をアップデートする場合、NET Render Client と NET Render Server の両方に適用して、それぞれのバージョンを一致させる必要があります。

7. 言語、ヘルプファイル、アップデートを手動インストール

もし、コンピュータが、インターネットにつながっていない場合や、プロキシサーバーを通しての場合、一般設定でオンラインアップデートの自動確認がオフになっている場合、すべてのアップデートは「手動」で行わなければなりません。また、NET Render は、手動によるアップデートのみになります。

「c4dupdate」ファイルは、インターネット接続されているコンピュータであれば、www.maxon.net からダウンロードできます。このファイルを、CD や USB メモリなど他のメディアを使って、オフラインのコンピュータに移してください。

アップデートファイルをインストールするには、CINEMA 4D (もしくは NET Render Client/Server) を起動して、「ヘルプ (Help)」メニューから「マニュアルインストール (Manual Installation...)」を選んでください。ファイル選択のダイアログウインドウが開きますので、あらかじめ保存しておいたアップデートファイルを、ダイアログから選んで開いてください。

そこからのインストールの手順は、通常のインストールの手順と同じステップになります。(ポイント「6」を参照してください。)

注意

汎用ヘルプファイルを、(提供されている) 希望の言語でインストールする場合、希望の言語で起動する必要があります。(つまり、日本語ヘルプをインストールするには、日本語のインタフェースにしておく必要があります)

言語パッケージは、ご使用されているソフトウェアのバージョンと言語ファイルの名前と一致している必要があります。たとえば、R11.512 用の日本語の言語パッケージには、ファイル名に「11.512」が含まれています。(例: JAPANESE_11.512_20090719_103102.lang4d) これは、ヘルプファイルのパッケージも同様です。(例: JAPANESE_HELP_11.512_20090719_103102.lang4d)

インストール完了後、CINEMA 4D は、インストールした言語で起動し、ヘルプファイルにもアクセスできます。ヘルプファイルをインストールする手順の詳細は、ポイント「7」をご覧ください。なお、ヘルプファイルは、使用される OS ごとに分かれています。ファイル名が「...MAC.c4dupdate」で終わるファイルは、Mac OS 用で、「...WIN.c4dupdate」は Windows 用になります。

注意: もし、CINEMA 4D に続けてアップデートもしくはモジュールをインストールすると、デフォルトでは英語版で起動します。オンラインアップデートで自動的に更新されなかった場合、マニュアルインストールでインストールする必要があります。もし、アップデートがインストールされている場合、最新バージョンにマッチした言語パッケージのみのインストールで結構です。

Windows Vista ユーザーへの注意: Windows Vista のセキュリティ上の問題から、管理者権限を持っていないユーザによるアプリケーションの展開やインストールが難しくなっています。もし、言語パッケージをインストールする際、なにかエラーメッセージがでたら、CINEMA 4D R11.5 を管理者権限を持った状態で再起動する必要があります。

CINEMA 4D を起動する際、「CINEMA 4D .exe」か「CINEMA 4D 64-bit.exe」のアプリケーションを右クリックでコンテキストメニューを開き、「管理者として実行」を選びます。そして、管理者権限のあるユーザ名で起動します。これで、言語パッケージをインストールできるようになります。言語パッケージをインストール後は、通常通り CINEMA 4D を起動でき、CINEMA 4D の言語を CINEMA 4D の一般設定で切り替えることができます。

また、ログインアカウント名が、日本語の場合エラーが出る場合があります。その場合は、Administrator のアカウントで、ログインしてください。それでもダメな場合は、セーフモードにして Administrator のアカウントでログインしてください。

CINEMA 4D R11.5 のアップデートが MAXON のウェブサイトから提供されていれば、上記の方法で手動インストールできます。

注意: アップデートをインストールした後、対象の言語パッケージを適用する必要があります。

モジュールを後から追加インストールした場合、言語ファイルだけではなくアップデートも再適用する必要があります。

8. サポートと連絡先

インストールに関する問題がありましたら、以下のところにお問い合わせください。:

日本

MAXON Computer 東京オフィス

Tel.: 03-5759-0530 (お電話によるサポートはインストールについてのみです)

E-mail: support_jp@maxon.net

Europe / Germany

MAXON Computer GmbH

Phone.: +(00) 49-6172-5906-0

Support: +(00) 49-6172-5906-42

Fax: + (00) 49-6172-5906-30

Email: support@maxon.de

France

MAXON Centre de Compétence

Phone: + (00) 33-1-46 21 82 22

Email: support_fr@maxon.net

United Kingdom & Ireland

MAXON Computer Ltd.

Phone: + (00) 44-1525-406799

Support: + (00) 44-1525-844969

Fax: + (00) 44-1525-406508

Email: support_uk@maxon.net

United States, Canada, The Americas

MAXON Computer Inc.

Phone: 1-877-ANIMATE

Email: support_us@maxon.net



